

第2回 福島県民の明日の希望を創るシンポジウム (ふくしま希望会議)



日時：2014年9月21日（日）13:00～15:00（開場 12:45）

会場：三春交流館「まほら」小ホール（福島県田村郡三春町字大町191番地）

主催：「ふくしま希望会議」実行委員会

協力：環境エネルギー政策研究所（ISEP）

プログラム

13:00 開会

13:10 政策提言（案）について

13:50 総合討論

登壇者（予定）：鈴木 浩（福島大学名誉教授）
佐藤彌右衛門（ふくしま会議理事）
飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）
コーディネーター：植田和弘（京都大学大学院経済学研究科教授）

15:00 閉会

*インターネットによる動画での配信を後日予定しています。

参加について

- ・参加費：無料
- ・定員：約70人程度
- ・JR磐越東線・三春駅から車5分（郡山～三春・13分）
- ・駐車場あり（車で郡山から20分）
- ・お申込み方法：ご参加を希望される方は、ご氏名、ご連絡先、ご所属を事務局までご連絡下さい。
(FAX：03-5942-8938、Email：kibo.fukushima2014@gmail.com)



お問い合わせ先

「ふくしま希望会議」実行委員会 事務局（ISEP内、担当：道満）

Email: kibo.fukushima2014@gmail.com、TEL:03-5942-8937、FAX:03-5942-8938

本会議はパタゴニア日本支社の助成を受けています。



ふくしま希望会議のコンセプト

3.11福島原発事故から3年以上が経過し、日本全体は一見平時に戻ったかのように見えますが、福島では未だに13万人以上の方が県内外で避難を強いられ仮設住宅など避難先での暮らしも長期化しています。帰還に向けた除染や復興が一部では進む一方で、多くの問題が置き去りになります。ますます複雑になってゆく中で、今後の見通しは混迷しています。

今あらためて、福島県民の置かれた現実と問題群を見つめ直し、県民の声を受け止めた上で、これからの福島の復旧・復興・再生のあり方と、それを超えて希望ある福島の未来づくりに繋がる政策や取り組みとはどのようなものかを問い直すときではないでしょうか。

この4月から、福島県内外の研究者、行政、事業者、市民活動家、そして一般県民など幅広い方々と、福島の復興や損害賠償、除染、被ばく、健康影響といった問題群について、3回にわたる学習討論と議論を重ねてきました。その議論を通して、福島県民や自治体が置かれている問題群がいかに多層で複雑であるのか、その輪郭がおぼろげながら見えてきました。同時に、福島県内でさまざまな人たちによる多様な活動や挑戦が行われていることも視野に入ってきました。

これまでの議論に参加・協力していただいた、福島県内外の研究者、事業者、市民活動家などの個人が集まり、現状から福島県民の希望をどのように創るか、そのために必要な政策や活動を探るために、『福島県民の明日の希望を創るシンポジウム』（略称：ふくしま希望会議）を開催することとしました。

ふくしま希望会議の呼びかけ人

佐藤 彌右衛門（ふくしま会議理事）

藤本 典嗣（福島大学准教授）

飯田 哲也（環境エネルギー政策研究所所長）

植田 和弘（京都大学大学院経済学研究科教授）ほか

お申し込み

ご参加を希望する方は、事務局宛までFAX（03-5942-8938）、またはEmail（kibo.fukushima2014@gmail.com）にて、ご氏名、ご連絡先、ご所属を事前にご連絡ください。FAXでご連絡の方は下記の申込用紙をご利用ください。

FAX発信票

FAX
送信先

03-5942-8938

お名前		ご所属	
電話番号		Fax番号	
E-mail			